

第47回 会員作品展応募要項

主催…公益社団法人 日本建築士会連合会

目的

都道府県建築士会(以下、士会という)会員の創意と努力に満ちた建築作品を募り、本連合会ホームページ等で紹介し、会員相互の技術を高めていくことを目的とする。

その中から特に秀でた建築作品を「平成31年日本建築士会連合会賞(以下、連合会賞という)」として、その作品の設計者である建築士会会員を表彰する。

応募対象

- 対象区域 日本国内とする。
- 対象建物 平成28年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その種類、規模等は問わない。ただし、確認申請を要しない建物については検査済証は不要とする。また、作品の建築場所と応募者の所属する士会の都道府県は異なってもよい。
- 対象者 上記の建物の設計者で、応募時に士会の正会員である者に限る。
- 応募作品 1人もしくは1グループ1点とするが、表彰対象者は士会会員1人とする。
応募作品は原則として、本連合会のホームページに掲載する(写真は、本会が無償で使用できるものとする)。
*掲載写真については、応募者自身が希望する写真2枚と図面1枚を、応募資料に明示すること。

所有者の了解

応募者は、あらかじめ建物所有者の了解を得て応募すること。

応募資料

- 申込書 所定の申込書を連合会HPからダウンロードして記入し、ファイル形式(Excel)を変更しないで送付すること。作成した申込書はプリントアウトしてファイルに挿入するとともに、審査資料と一緒にCD-ROMまたはDVD-ROM(1枚)に記録して添付すること。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/awards/2018.html>
- 審査資料 図面(平面図、断面図、配置図、矩形図)、写真および説明書等をA3判20枚を上限に1冊に製本またはファイルしてまとめること。写真デジタルデータは、JPEG(1600×1200程度)とし、申込書を含む全データを、CD-ROMまたはDVD-ROM(1枚)に記録して添付すること。

応募参加料

参加料は無料とするが、応募に要する費用は、応募者の負担とする。

応募締切および提出先

平成31年2月15日(金)までに、

本連合会に提出すること(当日消印有効)。

*すべての写真および図面は、データ名をキャプションに変更してください。
(例…外観1、平面図2)

選考の方法

連合会賞表彰候補作品選考にあたっては、資料を基に、本会に置かれた「作品審査委員会」において書類審査により選び、必要に応じて現地審査を行う。

表彰

- 表彰は、理事会の議を経て、建築士会全国大会等で行う。
- 連合会賞表彰者(グループの場合は実際に設計を担当した代表者)には優秀賞として、賞状および賞金10万円(税込み)を贈る。
- 優秀賞は5点以内とする。
- 優秀賞のほかに、優れた作品を対象とし、その設計者に奨励賞、特別賞として賞状を贈ることがある。

入賞者の発表

- 入賞者の発表は、本人および各士会、関係機関に通知するとともに、本会誌『建築士』およびホームページ等にて行う。
- 本会は、大会その他の場所において表彰作品を広く紹介するために、応募資料のほか、展示用パネル等の資料の提出を求めることがある。
- 本会が表彰作品の関係資料を展示および会誌、ポスター、ホームページおよび建築・空間デジタルアーカイブス(DAAS)コンソーシアム等に掲載等をする場合は、無償で使用できるものとする。

作品審査委員会

作品審査委員会の委員は、次の8名とする。

委員長

村松映一〔(株)村松映一建築計画室主宰〕

委員(五十音順)

石山修武〔STUDIO GAYA代表〕

岸 和郎〔京都造形芸術大学大学院教授〕

櫻井 潔〔(株)櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS代表〕

竹原義二〔摂南大学教授〕

中谷礼仁〔早稲田大学教授〕

難波和彦〔(株)難波和彦・界工作舎代表〕

松川淳子〔(株)生活構造研究所取締役特別顧問〕

*入賞作品は、本会発行の会誌『建築士』2019年9月号(予定)に特集として掲載いたします。表彰対象者以外の共同設計者の掲載は、応募時点で建築士会会員に登録されている方に限らせていただきます。